

第44期 経営方針発表会にあたって

【創業75年目、会社設立44期目、経営理念策定から9年目、経営方針発表会は8回目】

前期のテーマ【結果の出せるトライアンドエラー】について、各々が「100%完全燃焼した」と実感できる「チャレンジ」は幾つあったでしょうか？チャレンジの数だけ成長できると昨年も伝えました。反対に言えば「チャレンジ」しなかった者は全く成長していないということ。この御時世、変わらない人・変えようとする組織に、明るい未来は訪れず、衰退していくしか道はありません。その為、今期は「人が育つ組織」の仕組みを構築しつつ「持続的成長を実現できる会社作り」をテーマに、皆で色んな取組みを実施していきたいと思います。人は自分が成長する為に努力をします。でも、誰かの為に貢献したい、誰かの為に支える力になりたいと思った時の方が《飛躍的に人は成長する》と私は感じています。それは精神論ではなく「自分を犠牲にしても誰かの為に汗をかける人」、すなわち「思いやりの心」や「覚悟」をもった人こそが会社組織を強くできる人材に直結するのだと確信しているからです。どんなに知識や経験が豊富で頭の回転が早くても、それは人としての魅力にはならず、心底信頼される人・尊敬される人は「優れているかどうか」ではなく「誰の為に頑張っているか」で判断される部分が多いと思っています。ですが、私も含め殆どの方が『利己的』な部分を持っています。と同時に、『利他的』な自分も持ち合わせています。当社においても「目指すべき姿」や「他社との差別化」を実現する為に『利己的』な超強気発言や行動を促し今でも実践は続いています。しかし、それだけが強くなってしまふと一時的には成功しても必ず大きな壁にぶち当たり行き詰まる時があります。だからこそ『利己的』以上に『利他的』考えで考動する必要があります。特に社内において仲間同士そういう想いで接することが出来なければ、どんなに良い戦略や戦術があっても個々の感情の優先順位が違えば組織・チームの機能は上手く回っていきません。だからこそ、今期テーマ「人が育つ強い組織作り」を全員で構築・習得し、尚且つ個々が無意識レベルで利他的な行動をとる事が出来れば、それは社会人として更に一段階上のレベルで視野を広げることに繋がり、その経験が自分の人生を豊かにすることもできるのです。人や会社が大きく成長する時には辛い事や苦しい事はつきものです。まずはその苦しみを受け入れることで、それを乗り越える為のエネルギーが生まれます。そして、辛い事や苦しい事には必ず意味があり、その意味がこの【経営方針書】に書かれているのです。それを皆がキチンと理解・納得をしていなければ何の為に毎日朝早くから仕事をしているのか、チームメンバー同士で何を目標そうとしているのか？となり、自分自身で成長意欲も持たなくなります。いつも言うように皆で成長する、どうせやるなら《まぐろ屋最強チーム》を目指して皆で頑張る、それが何を意味するのか今一度見つめなおして行動に移して欲しいです。私も当然ながら苦しみは得意ではありません(笑) だからこそ皆で苦しみを乗り越えて目指すべき高い山の頂上の景色を見たいのです。白宝水産はまだ上り坂の途中ですが、皆の努力で今現在、目標の7合目までは到達しています。上り坂は疲れるし時間もかかるし一歩づつしか進めませんが、でも確実に足跡を残して上へ上へと登る力が強くなります。皆で支え合いながら構いません！皆さんと共に学び、人間力を高め成長し続けることが、白宝水産の持続的な成長の鍵を握ると断言します！

※利己的⇒自分の利益や欲求を優先 ※利他的⇒他人の利益や成功を優先